

music gallery special

1 モーツアルトの旅

海老沢敏 R.アンガー・ミュラー 文 | 稲生永 写真

ザルツブルク

Salzburg

神童の揺籃

モーツアルトの旅 1

ザルツブルク

Mozart

神童の揺籃

カバーの表▶ザルツブルクの左岸の目抜通りゲトライデガッセ9番地にあるモーツアルトの生家の正面

カバーの裏▶右岸のカプツィーナーベルクからザルツァハ越しに眺めた左岸の旧市街の中心部。尖塔は左からグロッケンシュビールの塔、聖ミハエルス教会の小さな鐘楼、大聖堂、聖ペテロ大修道院付属墓地のマルガレーテ礼拝堂の小尖塔、聖ペテロ大修道院付属教会、フランチスコ派教会のもの、左手奥のホーエンザルツブルク城の右下にケーブルカーの線路が見える。

カバー折返し▶ミラベル宮の庭園からの展望、記念撮影の定番ともいえる場所である。

扉▶女帝マリーア・テレージアから賜られた大礼服を着た6歳のモーツアルト。(ピエートロ・アントーニョ・ロレンツォーニ作、油彩画)

海老沢敏 R.アンガー・ミュラー ◆ 稲生永 ◆ 写真

音楽之友社

ISBN4-276-38401-X C0073 P2200E 定価2200円(本体2136円)

music gallery special

モーツァルトの旅

海老沢 敏 R.アンガーマユラー 文 | 稲生 永 写真

ザルツブルク

神童の揺籃



音楽之友社



ザルツブルクの北郊マリア・ブライン巡礼聖堂前からの展望。十字架の道行きの礼拝堂前からは、緑豊かな牧草地の向こうにザルツブルクの市街と、ホーエンザルツブルク城の背後に連なるウンタースベルクなどを含む山並が望める。

ザルツブルクのモーツァルト

モーツァルトの旅。それはまことに多様多彩であり、またまことにはるかではある。だが、その原点には故郷の町ザルツブルクがある。この町を訪れる者は、モーツァルトが、ここザルツブルク以外では生れえなかったことを了解するだろう。彼、モーツァルトは、ここカトリック大司教領の首都の自然と歴史と、そして芸術、とりわけ音楽の美を吸収しつづいた。そのモーツァルトは、レーオポルトという良き父親、良き教師を持った。そして、その父親にして教育者の導きで、数多くの、多様な旅また旅へと旅立ったのだ。

ザルツブルクは、そうしたモーツァルトの旅の本拠であった。モーツァルトはこの故郷の町、とりわけ主君の大司教に反撥し、旅に出た。旅はそのモーツァルトの教師であり、導き手となった。ザルツブルクなくしては、モーツァルトの旅も、生涯もなかった、というべきであろう。

そのザルツブルクは、また、私たち、モーツァルトの音楽に惹かれ、感動する者の、旅の目的地でもある。モーツァルトが逝った後、ザルツブルクは彼の芸術を愛し、慕う者の集う中心地、いわば聖地のごとき場となった。モーツァルトの音楽を、そしてモーツァルトの存在を愛する後世の人たちは、ここザルツブルクを巡礼地と考えたし、また、ここザルツブルクはモーツァルト芸術の実践と研究の本拠となったのである。



ザルツブルクのモーツァルト—— 3

第一章
ザルツブルクの

自然と歴史と、そして芸術と—— 7

第二章

神童誕生—— 49

第三章

少年宮廷音楽家—— 67

第四章

青年作曲家の日々—— 81

第五章

モーツァルト追憶二百年—— 105

R・アンガーミューラー
海老沢 敏

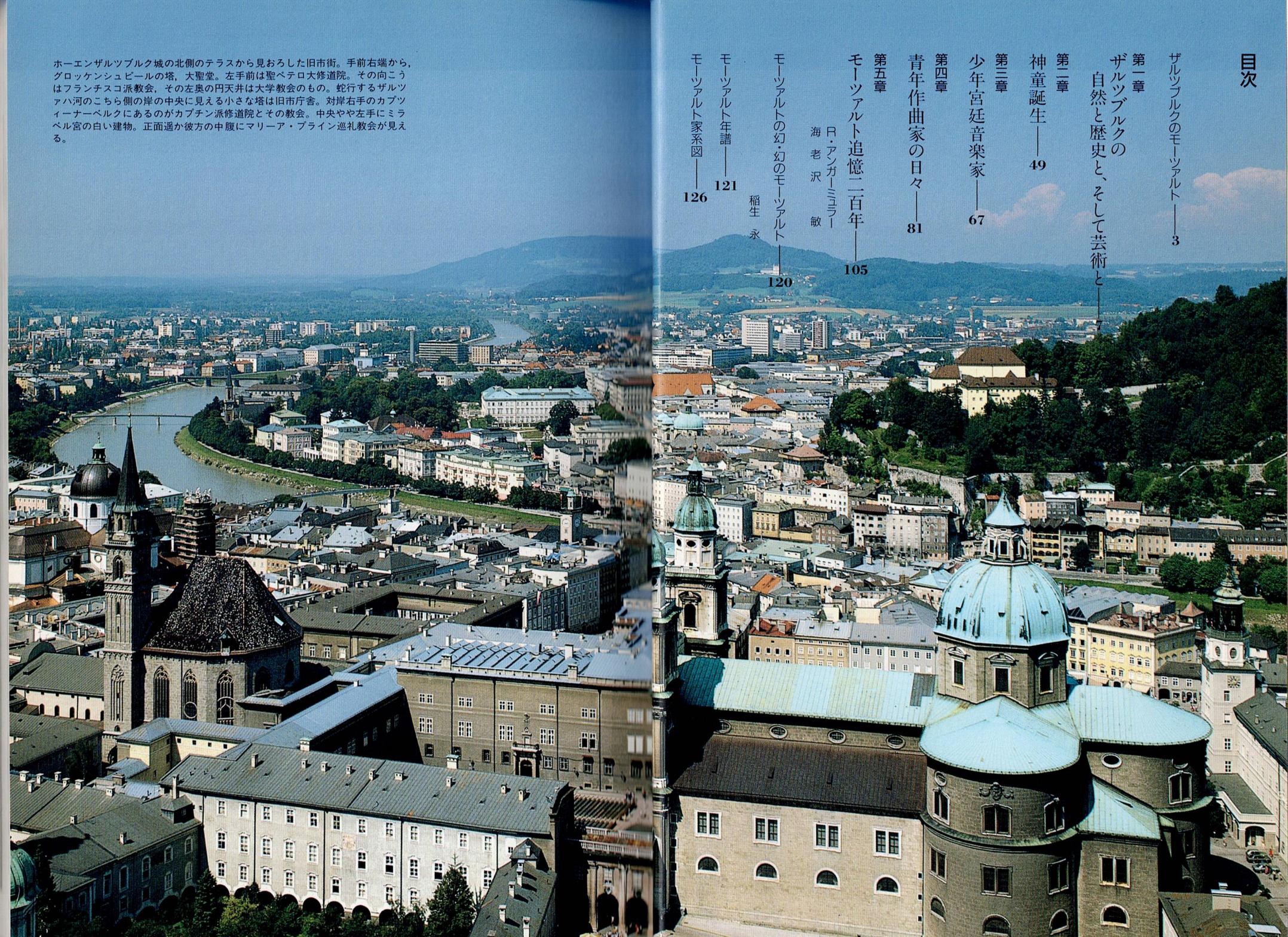
モーツァルトの幻・幻のモーツァルト—— 120

稲生 永

モーツァルト年譜—— 121

モーツァルト家系図—— 126

ホーエンザルツブルク城の北側のテラスから見おろした旧市街。手前右端から、グロッケンシュピールの塔、大聖堂。左手前は聖ペテロ大修道院。その向こうはフランシスコ派教会、その左奥の円天井は大学教会のもの。蛇行するザルツァハ河のこちら側の岸の中央に見える小さな塔は旧市庁舎。対岸右手のカプツィナーベルクにあるのがカプチン派修道院とその教会。中央やや左手にミラベル宮の白い建物。正面遙か彼方の中腹にマリーア・ブライン巡礼教会が見える。



海老沢 敏 (えびさわ びん)

1931年生れ。東大文学部卒。現在国立音楽大学学園長。ザルツブルク国際モツァルトテーム財団中央モツァルト研究所員。モーツァルト、ルソウの研究で知られる。主な著書に『モーツァルトの生涯』、『モーツァルトを聴く』、『モーツァルト像の軌跡』、『モーツァルトは宇宙』、『ルソウと音楽』他多数。

稲生 永 (いのう ひさし)

1932年生れ。東大仏文卒。現在立教大学教授。19・20世紀フランス文学専攻。主な著書に『魔法の地理学——フランス文学紀行』、『写真集・フランスの歴史と文学』、共編著に『事典・現代のフランス』、共編訳書に『ネルヴァル全集』、『ランボー全集』。

ルードルフ・アンガーミュラー Rudolph Angermüller

1940年生れ。ミュンスター、ザルツブルクの各大学で音楽学、古典学、歴史学を専攻。1972年より『新モーツァルト全集』編集委員を経て、現在、ザルツブルク国際モツァルトテーム財団事務局長兼学術部長。『パリのモーツァルト』、『モーツァルトのオペラ』他多数。

地図製作：稲生 永

写真資料協力：ザルツブルク国際モツァルトテーム財団

協力：オーストリア政府観光局

music gallery special

モーツァルトの旅①
ザルツブルク—神童の揺籃

一九九二年四月二十五日 第一刷発行
一九九二年八月二十日 第四刷発行

● 著者—海老沢 敏

● 写真—稲生 永 R・アンガーミュラー

● 発行所—浅香 淳

● 発行所—株式会社 音楽之友社

〒162 東京都新宿区神楽坂六―三〇

電話 (三三五) 二二一一 (代)

受注専用 (三三〇二) 四一九一

振替 東京七―一九六二五〇

● 写植—木香舎

● 印刷・製本—共同印刷

● 表 幀—菊地信義

● レイアウト—押山マサル

ISBN 4-276-38401-X C 0073

この著作物の全部または一部を権利者に無断で複製 (コピー) することは、著作権の侵害にあたり、著作権法により罰せられます。

Printed in Japan